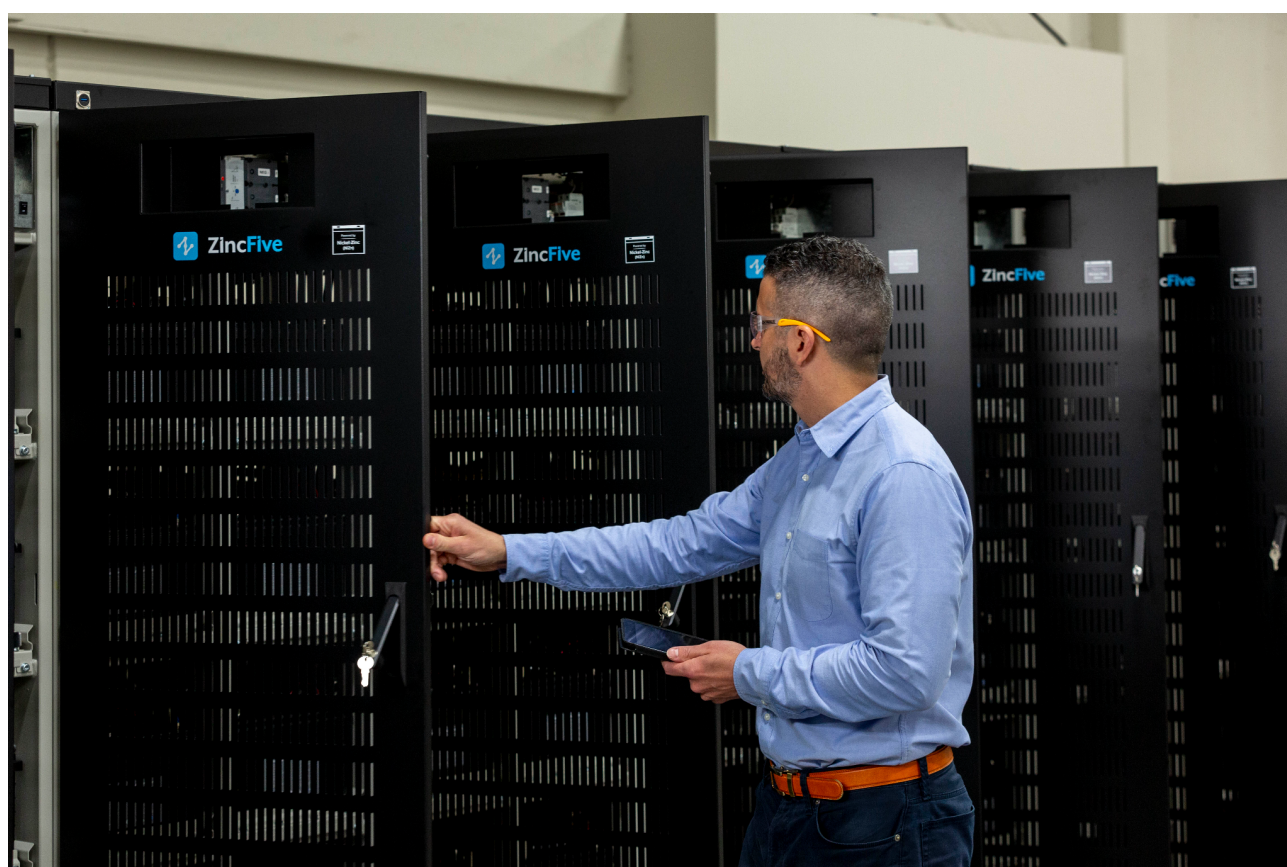


**ENECHANGE、環境負荷の低い独自のニッケル亜鉛電池を開発した
米「ジンクファイブ」へ脱炭素テックファンドを通じて出資**

ENECHANGE株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役CEO：城口 洋平、代表取締役COO：有田 一平）は、運営参画する海外特化型の脱炭素テックファンド「Japan Energy Fund（以下、「JEF」）」を通じて、アメリカのZincFive, Inc.社（以下、ジンクファイブ）に出資したことをお知らせします。脱炭素テックファンドからの投資は3件目となります。

ジンクファイブは、革新的技術でニッケル亜鉛電池ベースのソリューションを提供する世界のリーディングカンパニーです。今回の資金調達ラウンドではJEFのほかに英国の脱炭素分野を専門に投資するベンチャーキャピタル、OGCI クライメイトインベストメントを含む多数の著名投資家が出資しています。



ジンクファイブのニッケル・亜鉛テクノロジー技術のイメージ図（ジンクファイブ提供）

■背景

世界的に脱炭素化が進む中、電化に伴う電池の利用が急増しています。無停電電源装置（UPS）の世界市場規模は、2022年から2027年にかけて年平均成長率8%^{*1}で成長すると予測されます。さらに、ジンクファイブのターゲット市場の一つであるハイパースケールデータセンターの世界市場は、2027年までにCAGR26.32%^{*2}で成長すると予測されています。同社が扱うニッケル亜鉛電池の技術は、UPS用電池として、特にデータセンター分野で実用化され大きく成長する可能性があります。

^{*1} 出典 Mordor Intelligence: "UNINTERRUPTIBLE POWER SUPPLY (UPS) MARKET - GROWTH, TRENDS, COVID-19 IMPACT, AND FORECASTS (2022 - 2027)"

<https://www.mordorintelligence.com/industry-reports/uninterruptible-power-supply-market>

^{*2} 出典 Markets and Markets: "Hyperscale Data Center Market by Solution (Server, Storage, Networking, Software), Service (Consulting, Installation and Deployment, Maintenance and Support), End-User, Data Center Size, Industry, and Region - Global Forecast to 2022"

<https://www.marketsandmarkets.com/Market-Reports/hyperscale-data-center-market-26026183.html>

■ジンクファイブのニッケル・亜鉛テクノロジーについて

ジンクファイブのニッケル・亜鉛 (NiZn) テクノロジーは、ビジネスに、人々に、そして地球に優しい高出力バッテリーソリューションを実現します。ジンクファイブのニッケル亜鉛電池は、小さな設置面積で高い放電速度と安全性を提供し、UPS、産業用スターター、オフピークのエネルギー貯蔵などに使用されています。

■ジンクファイブについて

ジンクファイブは、アメリカオレゴン州を拠点に、ニッケル・亜鉛電池とパワーソリューションの革新と提供において、世界をリードしています。90件以上の特許を取得し、ジンクファイブのテクノロジーは世界を前進させるために「The Power of Good Chemistry™」を利用しています。同社の技術は、ニッケル・亜鉛化学の安全性と持続可能性を活用し、ミッションクリティカルなアプリケーションに高い出力密度と性能を提供します。

ジンクファイブウェブサイト：www.zincfive.com

■関係者のコメント

ENECHANGE株式会社代表取締役CEO 城口 洋平

私たちは、OGCIクライメントインベストメントをはじめとした複数の投資家とともに、ジンクファイブのこの投資ラウンドに参加できることを嬉しく思います。ジンクファイブのニッケル亜鉛電池技術は脱炭素化への重要なステップであり、データセンターやオフグリッド電力、高度道路交通システム (ITS) 分野の電池で有望な商業的採用が実証されています。グリーン成長戦略で示された日本政府の方向性の下、脱炭素化を目指す日本に強くフィットすると考えています。今回の投資を皮切りに、協力的なビジネス関係を構築し、ジンクファイブ社の日本市場への参入支援を目指します。

ジンクファイブ CEO Tim Hysell氏

当社のお客様には、安全性や環境面で妥協することなく、より高性能なニッケル亜鉛電池やパワーソリューションとして当社の製品に満足していただいています。ENECHANGEと提携することで、ニッケル亜鉛電池を新しい世界的な成長分野へ導くための資本と戦略的な関係を得ることができます。

■脱炭素テックファンドの目的と投資方針

欧米を筆頭に再生可能エネルギー普及拡大に必要な需要コントロールやエネルギー効率化、電気自動車 (EV) や充電設備、蓄電池のなど脱炭素社会の実現に必要なテクノロジーの開発が積極的に行われています。本ファンドは、先行する海外の技術や事業を取り込み、日本国内での優先的事業展開や事業シナジーを生むことで、脱炭素社会の実現を加速させることを目指しています。

ウェブサイト：<https://www.japanenergyfund-ventures.com/>

■脱炭素テックファンドの概要

ファンド名称	Japan Energy Capital 2号ファンド (英名: Japan Energy Capital 2 L.P.) 通称: 脱炭素テックファンド
ファンド組成日	2021年9月30日
投資方式	キャピタルコール方式
投資対象	脱炭素分野の海外エネルギーベンチャー企業
ファンド規模	50百万USドル
運用期間	2031年9月まで
無限責任組合員	Japan Energy Capital 合同会社
有限責任組合員 ※2022年6月1日時点	ENECHANGE株式会社 BIPROGY株式会社 (旧日本ユニシス株式会社) 東芝エネルギーシステムズ株式会社 三井住友信託銀行株式会社

脱炭素テックファンド設立に関するプレスリリース（2021年9月30日）

<https://enechange.co.jp/news/press/decarbonized-tech-fund/>

■ENECHANGE株式会社

ENECHANGE（エネチェンジ）は、「エネルギーの未来をつくる」をミッションに掲げ、脱炭素社会をデジタル技術で推進する脱炭素テック企業です。2015年創業、2020年東証マザーズに上場（証券コード4169）し、「エネルギーの4D（自由化・デジタル化・脱炭素化・分散化）」分野でのSaaS事業を中心に急成長を実現しています。当社のルーツは、自由化先進国のイギリス・ケンブリッジでの電力データ研究所にあり、現在もイギリスに子会社SMAP ENERGY LIMITEDを有しており、エネルギーデータの解析技術とグローバルなネットワークが特徴です。

名称 : ENECHANGE株式会社

所在地 : 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル3階

URL : <https://enechange.co.jp>

■報道関係のお問い合わせ先

ENECHANGE株式会社 広報担当：中田

Mail : pr@enechange.co.jp

※本プレスリリースは、ENECHANGE、BIPROGY株式会社、東芝エネルギーシステムズ株式会社、三井住友信託銀行株式会社による投資運用業務の提供や特定の運用商品の勧誘を目的とするものではありません。ENECHANGE、BIPROGY株式会社、東芝エネルギーシステムズ株式会社、三井住友信託銀行株式会社は、本プレスリリースにより上記のファンド等について勧誘を行うものではありません。